

地域循環共生圏

2023

環境省ローカルSDGs
地域循環共生圏
フォーラム

主催：環境省

Zoom | 参加費無料

※事前申込が必要です。

オープニング | 9:30 ~ 11:00

基調講演 「持続可能な地域のつくり方」

講師



笥 裕介 氏

issue+design 代表

issue+design 代表 / 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科特任教授。東京大学大学院工学系研究科修了（工学博士）。2008年 issue+design 設立。以降、社会課題解決のためのデザインプロジェクトに取り組む。著書に『持続可能な地域のつくり方』、『ソーシャルデザイン実践ガイド』他。代表プロジェクトに震災ボランティア支援の「できますゼッケン」、地域住民とともに未来を描く「高知県佐川町・みんなでつくる総合計画」、持続可能な地域づくりシミュレーション「SDGs de 地方創生」など。

対談

笥 裕介 氏

環境省 地域循環共生圏推進室長

佐々木 真二郎

コーディネーター

地域循環共生圏

プラットフォームコーディネーター
高橋 真寿美 氏

分科会 | 11:00 ~ 17:00

※プログラム内容は、今後変更になる可能性があります。

分科会

1

現場からお届け！地域循環共生圏づくりのチェックリスト（案）

分科会

2

島の未来を創る熱量に、「今」投資を。人と仕事の好循環を生み出すお手伝い

分科会

3

「食」から始まった地域づくり。広がり、つながる循環と共生の輪

分科会

4

行政主導で地域のSDGsビジネスを支援する～官民連携によるアクセラレーター運営の実践ノウハウ～

分科会

5

未来のために、環境のために、みんなで目指すプラごみゼロ～循環型社会の実現にむけて～

分科会

6

チャレンジ歓迎！地域外の人材とも連携したまちづくり

分科会

7

エネルギーで地域を強くする！地域の「環境」と「経済」変革の時

分科会

8

産官学民のあらゆる関係者の取組発信を通じて地域共創を促す『Platform Clover』～豊田市での実践と協働～

関係省庁による地域循環共生圏づくりに関連した事業・取組紹介

対象

- 地域課題を解決したいけど取り組みのきっかけや具体的なアクションが分からない方
- 地域づくりで壁にぶつかっていて解決のヒントを探している方

開催日時 令和5年 11月7日 火 9:30 ~ 17:00

Zoom開催 | 参加費無料

定員：各分科会300名程度

※事前申込が必要です。

※マスコミ関係者の取材希望は
右記フォーラム事務局へご連絡ください。

【申込先】 申込締切 10/31(火)

<https://forms.office.com/r/ddXtTXkPXj>

公式HP ▶ <http://chiikijunkan.env.go.jp/tsukuru/forum/2023/>

【問い合わせ先】

フォーラム事務局 いであ(株) 菊地・平井

✉ forum@chiikijunkan.jp



プログラム詳細

環境・社会・経済の同時解決で、
好循環を生み出し、様々なステーク
ホルダーを巻き込むヒントをご紹介します！

※プログラム内容は変更する可能性があります。
※分科会①～⑧は、プログラム終了後も登壇者と
意見交換や参加者同士で交流することができる
放課後タイム（15分間）を用意する予定です。

9:30 9:35	開会挨拶：環境省	
9:35 10:50	オープニング 〈基調講演〉「持続可能な地域の作り方」 登壇者 寛 裕介氏 (issue+design 代表) 対談 寛 裕介氏 × 佐々木 真二郎(環境省 地域循環共生圏推進室長) ●コーディネーター 高橋 真寿美氏 (地域循環共生圏プラットフォームコーディネーター)	「持続可能な地域」とは、どのような地域でしょうか。地域を一つの生態系ととらえ、人と経済をデザインし、地域内で循環する独自の生態系を再生していく必要があります。様々な地域で取り組まれている持続可能な地域づくり、その中で生じる課題は共通するものも多くあります。様々な角度から地域の課題解決に関わってきた issue+design 代表の寛氏に持続可能な地域づくりに必要なエッセンスや有効なアプローチをお話頂きます。また、地域循環共生圏づくりとの関係などについて環境省と対談します。
11:00 12:00	分科会 1 現場からお届け！ 地域循環共生圏づくりのチェックリスト(案) 登壇：GEOC 江口 健介氏 × 関東EPO 高橋 朝美氏 × EPO九州 佐藤 直哉氏 *EPO(地方環境パートナーシップオフィス) 地域の未来の為に、地域づくりの輪を広げたい。地域をより良くしたい人への入門編です。「地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業」において、地域への伴走支援を行ってきた EPO の立場から、地域プラットフォームづくりのポイントや“あるある”な落とし穴についてご紹介します。これをヒントにあなたもプラットフォームづくりを始めてみましょう！	分科会 2 島の未来を創る熱量に、「今」投資を。 人と仕事の好循環を生み出すお手伝い 登壇：株式会社風と土と 阿部 裕志氏 × 株式会社まきはた 掛谷 祐一氏 「人づくり」と「仕事づくり」の好循環をさらに促進するためにふるさと納税も活用して設立された海士町の「未来共創基金」。「自立・挑戦・交流」を掲げる海士町で基金が生まれたきっかけや地域の事業を支援していく仕組み、実際に採択された事業についてもご紹介します。基金を活用した地域のローカル SDGs 事業を支援する仕組みに興味のある方、必見です！
13:00 14:00	分科会 3 「食」から始まった地域づくり。 広がり、つながる循環と共生の輪 登壇：生活クラブ連合会 伊藤 由理子氏 × 酒田市 五十嵐 康達氏 庄内地方では、生活クラブが長年に渡り築いてきた生産者と消費者の交流を基礎として、「食」「エネルギー」「福祉」の自給を目指す地域づくりが進んでいます。地方と都市の様々な人達がライフステージにあわせて、つながり広がることで進む地域づくりとは？参加する暮らしとは？取組を広めたい、異分野の人も巻き込んでいきたい、そんな方にお勧めです。	分科会 4 行政主導で地域のSDGsビジネスを支援する ～官民連携によるアクセラレーター運営の実践ノウハウ～ 登壇：BBT大学 経営学部/大学院 経営学研究科 谷中 修吾氏 × 静岡県 杉村 龍司氏 行政がローカル SDGs を推進する上で、地域に存在する SDGs ビジネスを発掘して成長させる方法とは？本セッションでは、官民連携による事業成長支援の手法としての「アクセラレーター」に着目し、BBT 大学教授の谷中氏が解説。具体的事例として、静岡県が取り組む「SDGs ビジネスアワード」について県職員の杉村氏が紹介します。
14:10 15:10	分科会 5 未来のために、環境のために、 みんなで目指すプラごみゼロ ～循環型社会の実現にむけて～ 登壇：亀岡市 名倉 真也氏 「世界に誇れる環境先進都市」を目指す亀岡市では、プラスチックごみゼロに向けて、異分野とのコラボレーションや企業との連携によりライフスタイルの変革に取り組んでいます。皆さんの地域でも取り組める資源循環の取組や企業の巻き込み方をご紹介します。あなたの街でもできることを是非見つけてください。	分科会 6 チャレンジ歓迎！ 地域外の人材とも連携したまちづくり 登壇：東川町 小西 亜実氏 人口が増え続ける「写真文化首都“写真の町”」北海道東川町。その背景には、前例にとらわれず色々な取り組みにチャレンジする自治体と、一緒にまちづくりに取り組む地域外の人材の活躍があります。地域外の人材もまちづくりに巻き込む、その仕掛けやコツは何でしょうか。外部人材と連携した取組を進めていきたい方にお勧めです。
15:20 16:20	分科会 7 エネルギーで地域を強くする！ 地域の「環境」と「経済」変革の時。 登壇：株式会社アズマ 中島 一嘉氏 × エネシフ湖北 清水 広行氏 地域主導で地域に裨益する「脱炭素」を進めたい、そんな方に向け、2つの地域から取組事例や取組を進めるためのコツをご紹介します。地域主導でエネルギーの地域内循環をつくることで「強い地域」にシフトし、成長につなげていくことができます。脱炭素をチャンスととらえ、地域の生存戦略として活かしてみませんか？	分科会 8 産官学民のあらゆる関係者の取組発信を通じて 地域共創を促す『Platform Clover』 ～豊田市での実践と協働～ 登壇：法政大学 照屋 友紀氏 × 豊田市 社本 学氏 地域づくりには、産官学民のあらゆる関係者による協働・共創が必要です。地域の課題解決に向けて様々な関係者が有している多様なニーズとシーズを繋げ、ネットワーキングの場を提供する『Platform Clover』。ツールの使い方や登録方法などの利用方法を紹介するとともに、豊田市での具体的な活用事例についてお話頂きます。
16:30 17:00	関係省庁による地域循環共生圏づくりに 関連した事業・取組紹介	各省庁から、地域循環共生圏づくりに関連する事業や取組事例をご紹介します。各省庁の担当者へ気軽に質問いただけるよう質疑応答の時間も設けています。地域循環共生圏の視点を持って事業に取り組みたいと思っている方、今後の事業で補助金活用を検討されている方、ぜひこの場をご活用ください。
17:00	閉会	